夢はでっかく　根は深く

「学校長だより　No. 7」　　平成28年5月28日　倉敷市立柳井原小学校

「ゴールに向かって　迷わず進もう　笑顔と感動いっぱいに！」 今年のスローガンです

いよいよ明日が運動会です。今日は，準備に多くの保護者の方がお手伝いに来てくださりありがとうございました。天候が不安ですが，雨の場合はプログラムを多少変更して体育館で行うことになります。

児童は，本番に向けて多くの演技の練習をしてきました。練習をしていく途中で，すばらしい児童の姿を見ることができました。

・走力がある児童は何人もの友達を抜いていきます。きれいなフォームです。抜かされても必死で追いかける姿があります。また，途中でこけて体を強く打っても，根性で起き上がり次の人へバトンをつなげました。
・組体操の土台はつらいです。上からは重み，下からはひざに地面の石がくい込んで・・・でも，痛い表情はみせません。技が終わっても，ひざの小石を払う人はいません。
・特に低学年の人には難しかった倒立。「あれっ，はじめはできなかったのにあんなきれいにできるようになっている。」　お家の人と練習をしたそうです。努力に拍手！
・「技の挑戦は２回まで」　そう約束しています。できなかった悔しい気持ちを抑えながら，「気を付け」をして全体の動きに合わせる。気持ちは十分に伝わってきます。

「うれしい時には喜び，悔しい時には悔しがる」素直な子どもの表情です。でも，組体操ではこういった感情の面も押えることがあります。悔しがっていては次の技に繋がりませんし，全体の調和が崩れます。それが，他の運動とは違うところです。

マニアックな話になって申し訳ないのですが，**横綱貴乃花**は，勝っても負けても，全く表情を変えませんでした。**「勝ってガッツポーズをしたら，負けたけれど同じように努力してきた相手に申し訳ない」**との理由です。

組体操を中心に紹介させていただきましたが，楽しく踊って自分を表現しているダンスや，開閉会式の行進や話を聞く真剣な様子からも，やる気がどんどん伝わってきます。「勝った，負けた」「できた，できない」ではなく，子ども達のさまざまな場面やがんばっている表情をご覧くださり，ほめ言葉や励ましの言葉をかけていただけたらと思います。

柳井原音頭の講習会　５月２６日（木）

「ハアーア　花のトンネル　桜の土手を　とおって見られい
心もかるく　足もかるがる　うかれだす　うかれだす
柳井原よいとこ　蓮の郷」

こんな素敵な歌詞ではじまります。歌は，柳井原小学校児童。昨年度末に地域の茂木さんが中心に指導してくださり，大久保さんがすてきな CD に作り上げてくださいました。

先日は，内藤さん，小野さん，安藤さん，大久保さんから指導をいただきながら，みんな楽しく踊りを覚えました。子ども達も，地域のすばらしい文化と歴史に触れることができました。そうやって，受け継がれていくのですね。参加してくださった保護者の方もいて，和やかな時間を共に過ごすことができました。運動会でも踊ります。みなさん，参加してください。

「柳井原音頭の歴史を聞くことができました」

「細かな動作を正しく教えてもらいました」

ようこそ！柳井原小学校へ

５月２４日（火）に，２名のお友達が福山の学校から転校して来ました。
お兄さんは３年生。妹は１年生です。これで，３年生は６名，１年生は７名になりました。

「ようこそ！柳井原小学校へ」　　全校で２８名になりました。

２人は，転校初日から，運動会の練習に加わりました。組体操やダンスは，他の人は練習を重ねた分覚えていますが，２人は０からのスタート。でもみんなに追いつこうと一生懸命がんばっています。本番が楽しみです。

体育が大好きです。特に**走る**のは自信があります。運動会のリレーがとても楽しみです。**ドッジボール**も好きです。

図工が好きです。工作できれいな**お手紙**を作りました。**ダンス**が好きで，踊っているのをお家の人に見てもらいたいです。